

JAMA/JAPIA統一データシート改正内容のまとめ (Ver.2.14)

- ・ 本資料は、JAMA/JAPIA統一データシートのバージョンアップ(Ver.2.14)による変更点をまとめたものです。 [11年10月1日リリース予定]
- ・ 最新版のJAMA/JAPIA統一データシートは、11年10月以降、JAPIAホームページ (<http://www.japia.or.jp/>) より入手できます。
- ・ JAMA/JAPIA統一データシートは、今後もバージョンアップされる可能性があります。

2011年10月1日
社団法人 日本自動車部品工業会
製品環境部会

<Ver.2.14による改正内容一覧表>

ファイル	改正項目	改正内容	詳細説明
I. 記入帳票	1. 部品質量、材料質量の整数桁数変更	<p>質量において入力可能な整数桁数を増やし、IMDSと一致させました。</p> <p>[対象となる入力項目] 納入部品質量(項目番号4) 構成部品質量(項目番号10) 材料質量 (項目番号15)</p>	5ページ
	2. 材料の入力項目チェック変更	<p>一部のIMDS公開材料(海外規格材料)の記載内容に合わせ、「材料コード」と「材料記号」の併記を許容するよう、「VDA材料分類コード」に応じ行っていたチェックを変更しました。</p> <p>[対象となる入力項目] 材料コード(項目番号17) 材料記号 (項目番号18)</p>	6ページ
	3. 不要な半角スペースの自動削除	<p>入力データのチェック、XMLファイルの出力、CSVファイルの出力の実行時に、不要な半角スペース(値の前後の半角スペースや半角スペースのみの入力)を、自動で削除するように変更しました。</p> <p>[対象となる入力項目] 全入力項目</p>	7ページ

(次ページに続く)

ファイル	改正項目	改正内容	詳細説明
I. 記入帳票	4. 一括クリアボタンの機能改善	ユーザの使用実態に合わせ、一括クリアボタンの機能を一部見直しました。	8ページ
	5. グループ化による入力帳票シートの表示エリア拡大	入力帳票シートにおいて、説明文などの表示と非表示を切替え可能とし、データを入力するエリアの表示を拡大しました。	9ページ
	6. 表紙	<ul style="list-style-type: none"> ・バージョン、日付を更新しました。 ・改正の説明を追記しました。 	10ページ
	7. パスワード	記入帳票を開く際のパスワードを変更しました。(パスワードは調査依頼元に確認して下さい。)	なし

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

ファイル	改正項目	改正内容	詳細説明
Ⅱ. 外部 リスト	8. 材料リスト MAT	<ul style="list-style-type: none"> ・JISの改正を反映しました。 ・追加登録申請された材料を反映しました。 ・誤記を訂正しました。 ・海外規格材料において、「材料コード」と「材料記号」を併記できるようにしました。 	11ページ
	9. 化合物リスト IMDS_SUB	<ul style="list-style-type: none"> ・IMDS BSLの変更内容(追加・修正・削除)を反映しました。 ・これに伴い、化合物名称(日本語)を見直しました。 ・REACHのSVHC(高懸念物質)のフラグを追加しました。(2011年6月20日追加分) 	(なし)
	10.アプリケーション リスト IMDS_APP IMDS_SUB_APP	<ul style="list-style-type: none"> ・IMDSとの整合化のため、鉛のアプリケーションコードを更新しました。 <p>＜削除＞13 (はんだ中の鉛を表す旧コード)</p> <p>＜追加＞63、64、65、66 (ガラス、セラミック中の鉛を表すコード16から細分化された新コード)</p>	12、13 ページ

I. 記入帳票の改正内容

1. 部品質量、材料質量の整数桁数変更

質量において入力可能な整数桁数を増やし、IMDSと一致させました。

従来 (Ver.2.13)				変更後 (Ver.2.14)			
項目番号	4	10	15	項目番号	4	10	15
項目名称	納入部品 質量 [g/部品]	構成部品 質量 [g/個]	材料 質量 [g/構成部品]	項目名称)	納入部品 質量 [g/部品]	構成部品 質量 [g/個]	材料 質量 [g/構成部品]
桁数(整数)	7	7	6	桁数(整数)	<u>9</u>	<u>9</u>	<u>9</u>
桁数(小数)	6	6	6	桁数(小数)	6	6	6
	<10,000,000g	<10,000,000g	<1,000,000g		<1,000,000,000g	<1,000,000,000g	<1,000,000,000g

2. 材料の入力項目チェック変更

一部のIMDS公開材料(海外規格材料)の記載内容に合わせ、「材料コード」と「材料記号」の併記を許容するよう、「VDA材料分類コード」に応じ行っていたチェックを変更しました。

なお、各項目に入力された内容と外部リストとの照合チェックは、従来通り実施され変更はありません。

従来(Ver.2.13)のエラーチェック

	VDA材料分類コードが5.xの場合	VDA材料分類コードが5.x以外の場合
材料コード	入力されているとエラー [エラーメッセージ番号:mes38]	未入力の場合にエラー [エラーメッセージ番号:mes36]
材料記号	未入力の場合にエラー [エラーメッセージ番号:mes41]	入力されているとエラー [エラーメッセージ番号:mes43]

変更後(Ver.2.14)のエラーチェック

	VDA材料分類コードが5.xの場合	VDA材料分類コードが5.x以外の場合
材料コード	外部リストとの照合チェックのみ (入力の有無はチェックされない)	未入力の場合にエラー [エラーメッセージ番号:mes36]
材料記号	未入力の場合にエラー [エラーメッセージ番号:mes41]	外部リストとの照合チェックのみ (入力の有無はチェックされない)

上記変更に伴い、次のエラーメッセージは、Ver.2.14では使用されません。

[mes38: エラー] VDA材料分類が5.xの場合には、材料コードは入力不可です。

[mes43: エラー] VDA材料分類が5.x以外の場合には、材料記号は入力不可です。

以下のエラーメッセージは、Ver.2.14でも従来どおり表示されます。

[mes36: エラー] VDA材料分類が5.x以外の場合には、材料コードは入力必須項目です。

[mes41: エラー] VDA材料分類が5.xの場合には、材料記号は入力必須項目です。

本変更に伴い、外部リストのMATリストにも変更がありますので、11ページの <4> をご覧下さい。

3. 不要な半角スペースの自動削除

入力データのチェック、XMLファイルの出力、CSVファイルの出力の実行時に、不要な半角スペース(値の前後の半角スペースや半角スペースのみの入力)を、自動で削除するように変更しました。

＜対象となる入力項目：全項目＞

対象の操作	不要な半角スペースの扱い	
	従来(Ver.2.13)	変更後(Ver.2.14)
入力データのチェック	自動削除なし (不要な半角スペースを残す)	自動削除※
XMLファイルの出力、CSVファイルの出力	そのままファイル出力 (不要な半角スペースを残してファイル出力)	自動削除※してファイル出力

※入力帳票上の不要な半角スペースも削除されます。

＜事例＞

項目番号	1	18	19	20	23
項目名称	連番	材料記号 (樹脂・ゴム)	VDA材料分類 コード	含有数 整理番号	プロセス ケミカルの 存在形態 選択
データ型	半角数字	半角英数字	半角英数字	半角数字	半角数字(「1」 「2」「3」のいづ れか)
桁数(整数)	5	20	6	3	2
桁数(小数)	0	0	0	0	0
	1	PP-GF30	5.1.a	1	
	2	PP-GF30	5.1.a	2	
	3	PP-GF30	5.1.a	3	

「VDA材料分類コード」に不要な半角スペースあり
例:「5.1.a」(aの後ろに半角スペース)

CSV
ファイル
出力

従来(Ver.2.13)のCSVファイル

```

", "10", "ISO1043", "", "PP-GF30", "5.1.a ", "1", "",
", "", "ISO1043", "", "PP-GF30", "5.1.a ", "2", "", "",
", "", "ISO1043", "", "PP-GF30", "5.1.a ", "", "", "", ""

```

aの後ろに半角スペース有

変更後(Ver.2.14)のCSVファイル

```

", "10", "ISO1043", "", "PP-GF30", "5.1.a", "1", "",
", "", "ISO1043", "", "PP-GF30", "5.1.a", "2", "", "",
", "", "ISO1043", "", "PP-GF30", "5.1.a", "", "", "", ""

```

aの後ろの半角スペースは削除される

4. 一括クリアボタンの機能改善

「一括クリア」をしても、直前に指定した CSVファイルの取り込みフォルダ 又は出力フォルダは、記憶したままとしました。

動作説明(取り込みの場合)

従来(Ver.2.13)

[CSVファイルの取り込み]

ファイル名とフォルダ名を記憶

[一括クリア]

記憶したファイル名とフォルダ名を削除

連続して[CSVファイルの取り込み] をすると、フォルダ名を選択しなおす必要あり

変更後(Ver.2.14)

[CSVファイルの取り込み]

ファイル名とフォルダ名を記憶

[一括クリア]

記憶したファイル名を削除、フォルダ名は保持

連続して[CSVファイルの取り込み] をしても、フォルダ名を選択しなおす必要なし

5. グループ化による入力帳票シートを表示エリア拡大

入力帳票シートにおいて、説明文などの表示と非表示を切替え可能とし、データを入力するエリアの表示を拡大できるようにしました。

グループ化された4～11行目と17～22行目を表示した状態

グループ化された4～11行目と17～22行目を非表示とした状態

このスクリーンショットは、入力帳票シートの表示状態を示しています。行番号の列（左側）に、4～11行目と17～22行目が表示されていることが確認できます。赤い点線はこれらの行番号を囲んでいます。表の上部には「基本情報調査」の項目があり、下部には「構成材料-化学物質調査」の項目があります。

このスクリーンショットは、入力帳票シートの表示状態を示しています。行番号の列（左側）に、4～11行目と17～22行目が表示されていない（グレーアウト）ことが確認できます。これは、これらの行を非表示にした状態を示しています。表の構造は左側のスクリーンショットと一致しています。



切り替え可

6. 表紙

JAMA統一データシート

Ver.2.14
2011年10月1日

＜変更点＞
バージョン、日付を更新
しました。

JAMA統一データシートの改正を、下記の通り実施します。

＜2011年10月1日＞

- ・IMDSとの整合と、入力者の利便性向上を図り、小改正版(Ver2.14)を発行しました。
改正内容の詳細につきましては、部工会ホームページ掲載の資料を参照して下さい。
- ・欧州廃車指令(ELV)の適用除外リスト(Annex II)の改訂に伴い、IMDSのアプリケーションコードが変更されたため、外部リストを修正しました。
- ・欧州REACH規則のSVHCが、2011年6月20日に追加されましたので、外部リストを修正しました。

＜変更点＞
改正内容を追記
しました。

＜2011年6月1日＞

- ・IMDSとの整合を図り、小改正版(Ver2.13)を発行しました。
改正内容の詳細につきましては、部工会ホームページ掲載の資料を参照して下さい。
- ・欧州REACH規則のSVHCが、2010年12月15日に追加されましたので、外部リストを修正しました。

＜2010年10月1日＞

- ・IMDSとの整合と、入力者の利便性向上を図り、小改正版(Ver2.12)を発行しました。
改正内容の詳細につきましては、部工会ホームページ掲載の資料を参照して下さい。
- ・欧州REACH規則のSVHCが、2010年6月18日に追加されましたので、外部リストを修正しました。

＜2010年6月1日＞

- ・欧州廃車指令(ELV)の適用除外リスト(Annex II)の改訂に伴い、IMDSのアプリケーションコードが変更されたため、外部リストを修正しました。
- ・欧州REACH規則のSVHCが、2010年1月13日、3月30日に追加されましたので、外部リストを修正しました。
- ・入力帳票の内容に変更はありません。

＜2009年10月1日＞

- ・IMDSのバージョンアップに対応するため、小改正版(Ver.2.10)を発行しました。
改正内容の詳細につきましては、部工会ホームページ掲載の資料を参照して下さい。
- ・外部リストの改正も実施しましたので、Ver.2.10(EXLIST-2009-10-01JP)を利用して下さい。

(以下、省略)

Ⅱ. 外部リストの改正内容

8. 材料リスト(MAT)

- <1>JIS改正の材料を反映しました。
 <2>追加登録申請された材料を反映しました。
 <3>誤記を訂正しました。
- } 詳細は、別資料の「材料リストに関する補足説明資料」をご参照下さい。
- <4>改正内容の「[2. 材料の入力項目チェック変更](#)」に合わせ、海外規格材料および国際規格材料において、「材料コード」と「材料記号」の併記を可能としました。

<対象規格>

ABS\$, AISI\$, API\$, AS/NZS\$, ASME\$, ASN\$, ASTM\$, BS\$, CDA\$, CSN\$, DIN EN\$, DIN\$, EN ISO\$, EN\$, GB\$, GL-Vorschrift\$, IEEE\$, IPC\$, ISO\$, KS\$, KTA\$, LW\$, MPIF\$, NBR\$, NF\$, NP\$, SAE\$, SE\$, SEW\$, SIS\$, SS\$, TLDB\$, UCI\$, UNE\$, UNI\$, UNS\$, VDA\$, VDG\$, WL\$, WW\$

<変更点> 空欄であった「材料記号」欄に@を追記し、文字列の入力を許容した

	表面処理 識別	構成材料 名称(英語)	構成材料名称 (日本語)	材料規格	材料コード (金属・ その他)	材料記号 (樹脂・ゴム)	VDA材料 分類 コード	IMDS 登録名称
従来(Ver.2.13) の例		Magnetic Steel Sheet		DIN\$	\$		1.1.1	\$
変更後(Ver.2.14) の例		Magnetic Steel Sheet		DIN\$	\$	@	1.1.1	\$

\$の意味 : 報告する材料として適切な、何らかの文字列を入力する必要あり
(文字列として\$や@の入力は不可)

@の意味 : 報告する材料として適切に、@を削除するか、あるいは何らかの文字列を入力する必要あり
(文字列として\$や@の入力は不可)

<入力にあたっての注意事項>

選択入力した材料の「材料記号」に初期状態で@が記載されている場合は、各材料規格の記載内容に従い、@を削除し空欄とする(記号がない場合のみ)か、@の代わりに適切な材料記号を入力する必要があります。

10. アプリケーションリスト (IMDS_APP、IMDS_SUB_APP)

IMDSとの整合のため、鉛および鉛化合物のアプリケーションコードについて、以下の削除と追加を行いました。

＜アプリケーションコードの削除＞ IMDSの2011年6月30日変更内容を反映

ID	アプリケーションコード(英語)	アプリケーションコード(日本語参考訳)
13	Solder in electronic circuit boards and other electric applications	電子回路基板用およびその他の電気部品用のはんだ (2011年1月以降の新型車に搭載される部品には、使用できません)

コード13が削除されますので、今後は細分化されたコード53～62(JAMAシートVer.2.11で追加)から選択して下さい。

＜アプリケーションコードの追加＞ IMDSの2011年6月30日変更内容を反映

ID	アプリケーションコード(英語)	アプリケーションコード(日本語参考訳)
63	10(a) - Electrical and electronic components which contain lead in a glass or ceramic, in a glass or ceramic matrix compound, in a glass-ceramic material, or in a glass-ceramic matrix compound. This exemption does not cover the use of lead in: -glass in bulbs and glaze of spark plugs, -dielectric ceramic materials of components listed under 10(b), 10(c) and 10(d).	10(a) - ガラスまたはセラミック、ガラスもしくはセラミックの母材、ガラスセラミック材料またはガラスセラミック母材に鉛を含む電気及び電子構成部品。ただし、以下における鉛の使用は対象としない。 - 電球のガラス及び点火プラグのガラス質釉薬 -10b)、10c)及び10d)に掲出された構成部品の誘電体セラミック材料
64	10(b) - Lead in PZT based dielectric ceramic materials of capacitors being part of integrated circuits or discrete semiconductors	10(b) - 集積回路又はディスクリート半導体の一部となるコンデンサのPZT(チタン酸ジルコン酸鉛)誘電体セラミック材料に含まれる鉛
65	10(c) - Lead in dielectric ceramic materials of capacitors with a rated voltage of less than 125 V AC or 250 V DC	10(c) - AC125V又はDC250Vより低い定格電圧をもつコンデンサの誘電体セラミック材料に含まれる鉛
66	10(d) - Lead in the dielectric ceramic materials of capacitors compensating the temperature-related deviations of sensors in ultrasonic sonar systems	10(d) - 超音波ソナーシステムのセンサーにおける温度偏差を補正するコンデンサの誘電体セラミック材料に含まれる鉛

コード16が細分化され上記4つのコードが追加されました。今回の改正ではコード16はそのまま残りますが、IMDSにおいてコード16は、2012年1月以降使用できなくなる見通しです。今後の調査では原則として上記4つのコードから選択して下さい。

アプリケーションコード16は、IMDSにおいて2012年1月以降使用できなくなる見通しであるため、日本語参考訳にその旨を追記しました。

<アプリケーションコードの日本語参考訳の追記(下線部)>

ID	アプリケーションコード(英語)	アプリケーションコード(日本語参考訳)
16	Electrical components which contain lead in a glass or ceramic matrix compound except glass in bulbs and glaze of spark plugs	鉛を含むガラスまたはセラミック母材の電気部品。 ただし、電球のガラスおよび点火プラグのガラス釉薬を除く。 <u>(2012年1月以降の調査には、使用できなくなる見通しです。)</u>

(補足説明) 旧バージョンとの互換性について

(1) 外部リスト

互換性なし。

必ずVer.2.14の外部リストを利用して下さい。

旧バージョンの外部リスト(Ver.2.01 ~ Ver.2.13)は、

エラーチェックや選択入力が正しく動作しないため利用することができません。

(2) CSVファイル

互換性あり。

旧バージョン(Ver.2.01 ~ Ver.2.13)にて作成したCSVファイルでも

取り込みできます。

ただし、入力内容によっては、外部リストの見直しに伴い、

エラーが発生する可能性があります。この場合データの修正が必要となります。